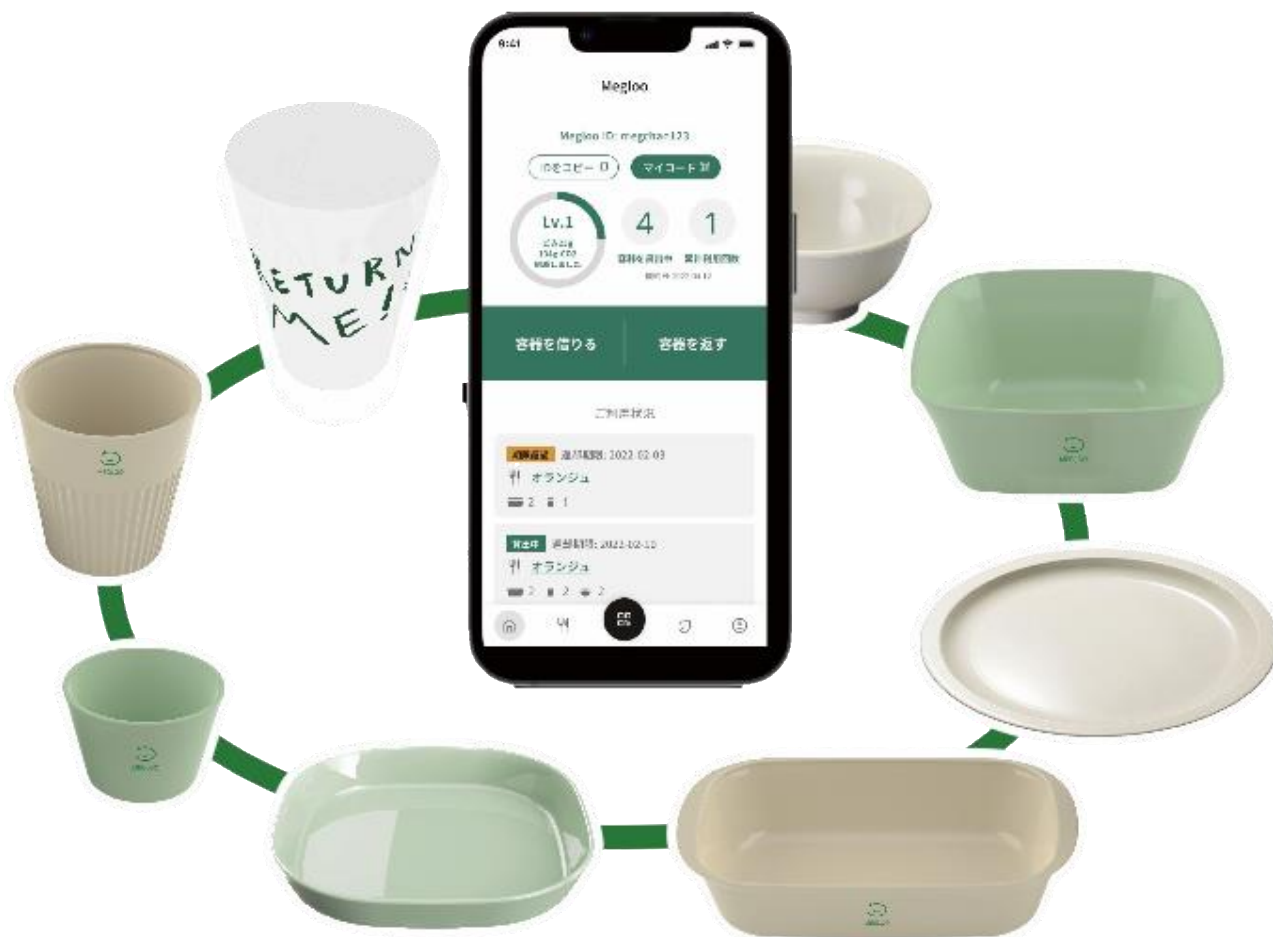


「すてる」から「めぐる」社会インフラへ。

リユース容器循環プラットフォームMegloo

株式会社カマン 代表取締役 善積真吾



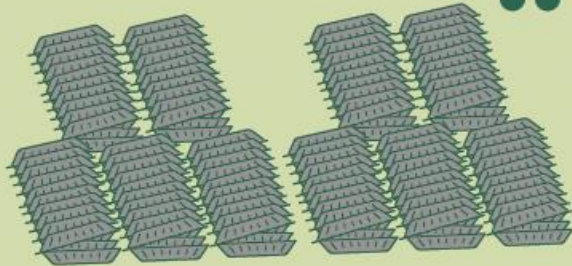
リユース容器を使ってごみを減らそう。

捨てる

から、

テイクアウト

廃棄



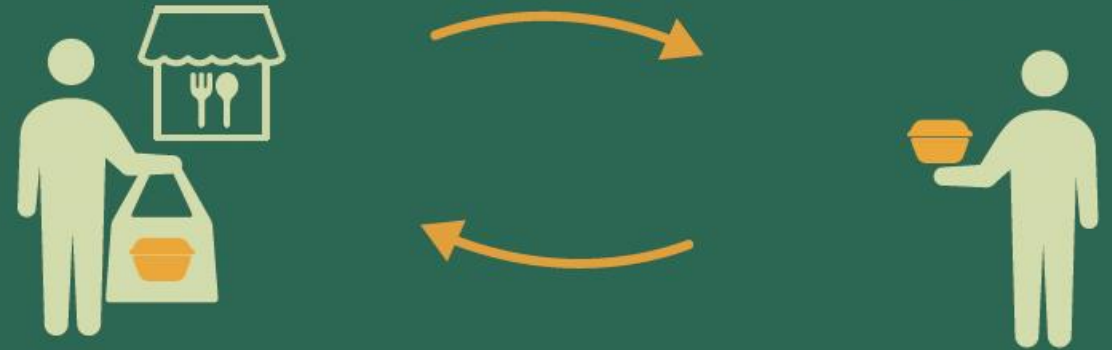
100回利用で100個のごみ

めぐる

へ。

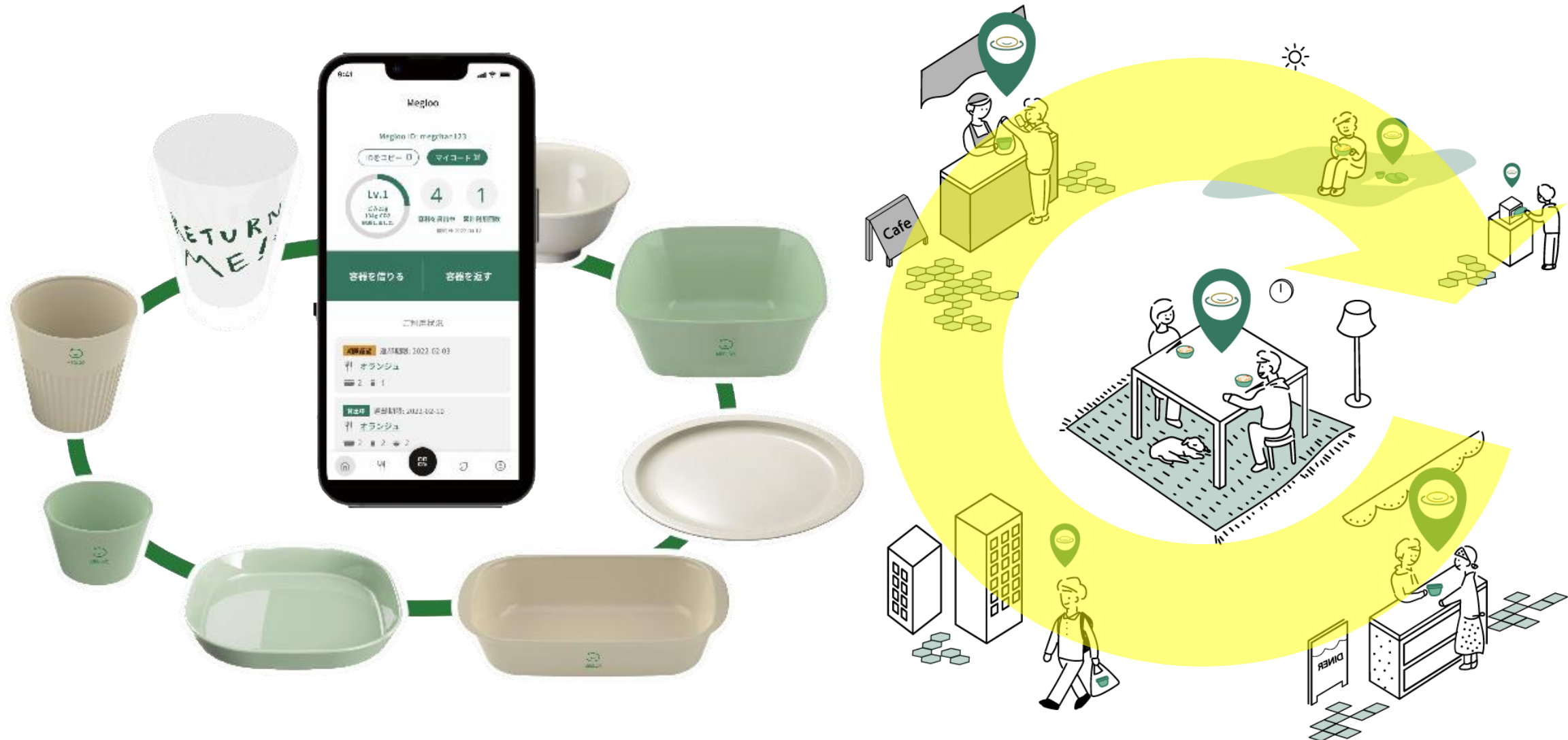
テイクアウト

容器返却



100回以上利用も1つの容器

地域共通のリユース容器をみんなでシェア スマホで簡単に借りられ、返却は対応店舗どこでもOK。





街でめぐる

どこでも
返せる

容器を借りる



洗浄



いただきます



返却スポット
で返却



500回以上繰り返し利用できる容器 + アプリ + オペレーション



シェアに最適な形状



アプリで返却率向上



一貫したオペレーション



持ち運べる

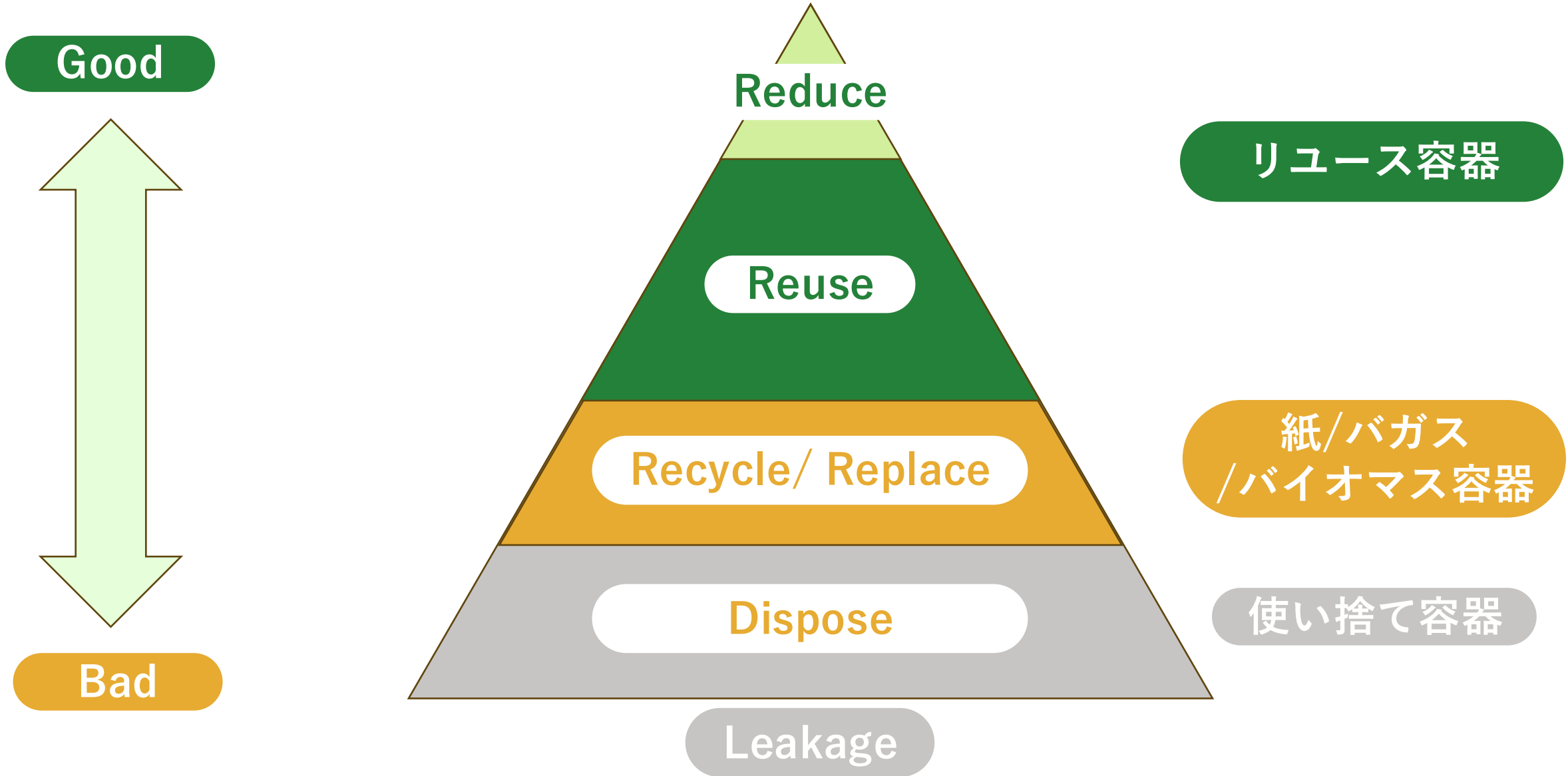
洗しやすい



返却率99%

ローカルで確立して、
低コスト・低環境負荷

環境負荷(CO2観点)での選択肢



Reduce/Reuseが環境負荷（CO2観点）で一番良い

圧倒的な環境インパクト



使い捨て容器
100個 = ゴミ 3kg

MEGLOO容器
1個 (100回利用) = ゴミ 0kg

CO₂
排出量



MEGLOO
100 回再利用

0.9 kg-CO₂

90% 削減

輸送も洗浄も込



紙容器
100 個利用

8.1 kg-CO₂



PSP 容器
100 個利用

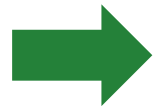
14.8 kg-CO₂

資源を循環させれば、国際情勢にも左右されにくい

リユース容器って、興味はあるけど難しそう・・・



洗うのが大変そう



汚れたまま返却でOK！



高そう



30円/個～で手軽にレンタル！



皿が選べない



15種類以上から選択可！



なくなりそう



QR読込で返却率99%以上！



リユースの課題を一つ一つクリア



街



イベント
・フェス



商業施設
・オフィス

特に高密度でクローズドな空間でのイベント導入が好調

スタジアムやイベントでの大量の廃棄物

J1平均（21,000人）で

1t/試合

可燃ごみ＋プラごみの量
※カマン社実績から推定



使い捨て容器だけで、

J1平均（21,000人）で

100万円/試合

廃棄しているんです



どちらの100万円が良いですか？

使い捨て容器



一瞬でごみとなる100万円

リユース容器



ごみとならない100万円

スポーツでもサステナビリティが強く求められる時代へ



Jリーグでは2026からSports Positive League 開始

チームの気候変動対策をランキング化

12項目中2項目が直接的関与
(使い捨てプラ削減とごみ削減管理)

リユース容器を活用して、一歩進んだサステナビリティ対応で差別化



かながわビジネスアクセラレーションプログラムで
湘南ベルマーレと全面リユース容器導入し、スポーツイベントへ急速拡大

リユースはオペレーションが大変→RFID連動のシステムを開発



回収先	場所	時間
		14:00
ルパーク (RFID対応)	エコステーション	
ート前		
用済み)	キッチンカー	
	場外	
	中央ゲート付近	
	中央ゲート付近	
タンド	容器の配布・回収時の個数を即座に把握	
	中央ゲート付近	
	予備(追加設置)	
	7HIDEゲート側2	
タンドコンコース	6ゲート側1	
	6ゲート側2	
	8ゲート側	

①インタラクティブ

返却すると選手から御礼 & 環境貢献度を可視化

②誤廃棄検出

間違えて捨てられたものもハンディターミナルで検出

③データ管理

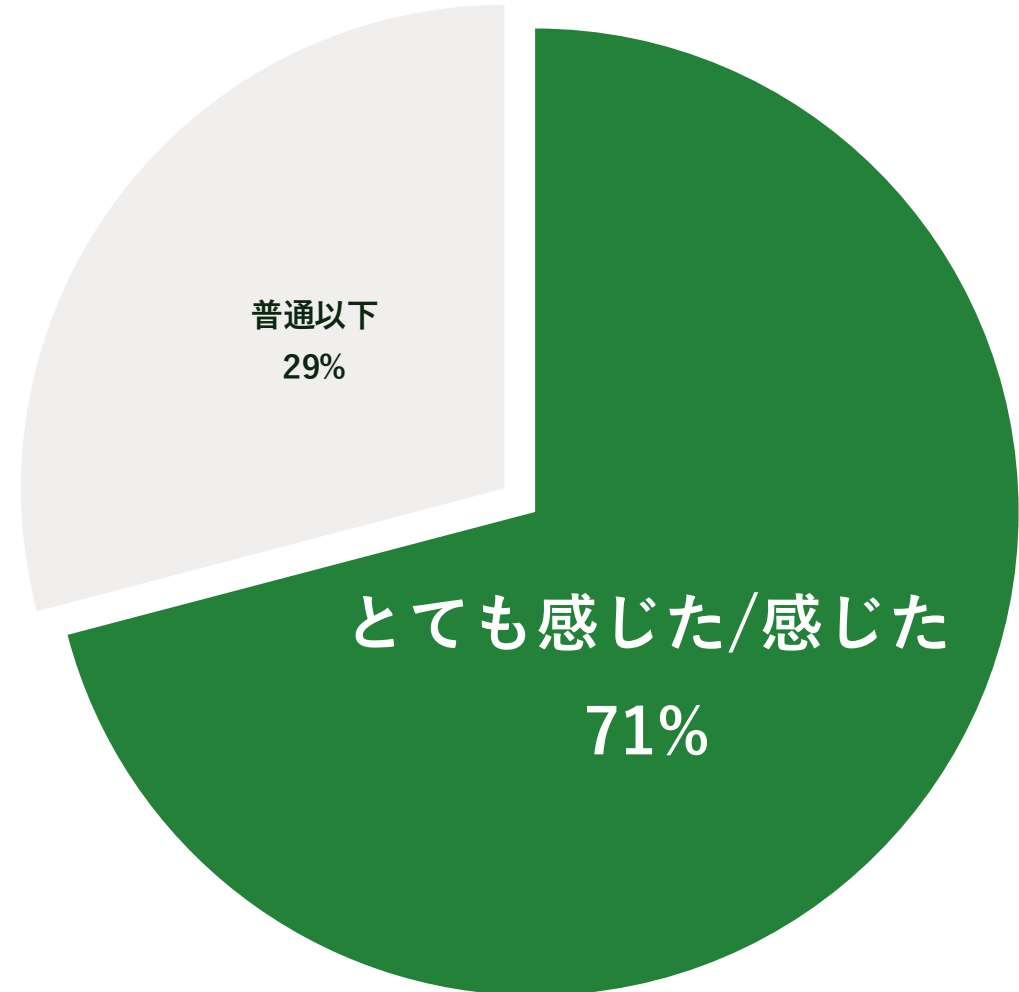
容器の配布・回収時の個数を即座に把握

全容器にRFIDシールを貼り、返却するという義務感を、楽しく便利に！

利用者の声



利用して環境意識に変化を感じましたか？



某J1チーム利用者アンケート結果 N=119

リユースは手にとって分かる施策→消費者の意識変容にも繋がる

導入実績

イベント導入
年間100件以上

大型イベント



SUZUKA CIRCUIT



商業施設/大学



NAKANO CENTRAL PARK



街全体

鎌倉

横浜

中目黒

有楽町

蔵前

袋井

苫小牧

栗山

京都

食品包装容器に関する世界の動き

	2023年よりテイクアウト時に 再利用食器の選択肢付与が義務化 →多数のリユース容器シェアリングサービスが拡大中	Vytal  sykell 
	2023年7月～ 使い捨て容器税。弁当 0.5€、カップ 0.25 €	
	2030年 リユース20%へ	
	～2030年 リユース10%義務化 (2025年施行の欧州容器包装法より)	
	2026年 国際プラスチック条約合意予定	

環境負荷の低いリユースが世界的に広がっている



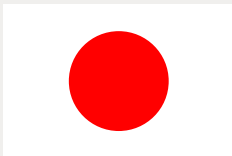
ブンデスリーガでは義務
75,000人収容のサッカーでも全面リユースカップ

イベントでは当たり前(リユースカップが義務)



日常でも街のいたるカフェで導入されてきている

規制の潮流：欧州から日本への波及

	EU 	日本 	
レジ袋	2015年 EU指令発行	2020年有料化義務	5年遅れ
使い捨てプラ禁止 ストロー/カトラリー	2019年SUP指令	2022年プラ新法	3年遅れ
カーボンニュートラル宣言	2021年欧州気候法	2023年GX推進法	2年遅れ
容器包装 リユース	2025年PPWR発行	???	

日本は欧州から数年遅れで対応が多く、2028年～2030年頃に義務化？

世界は進んでいる。
が、日本でももっと広げられる。

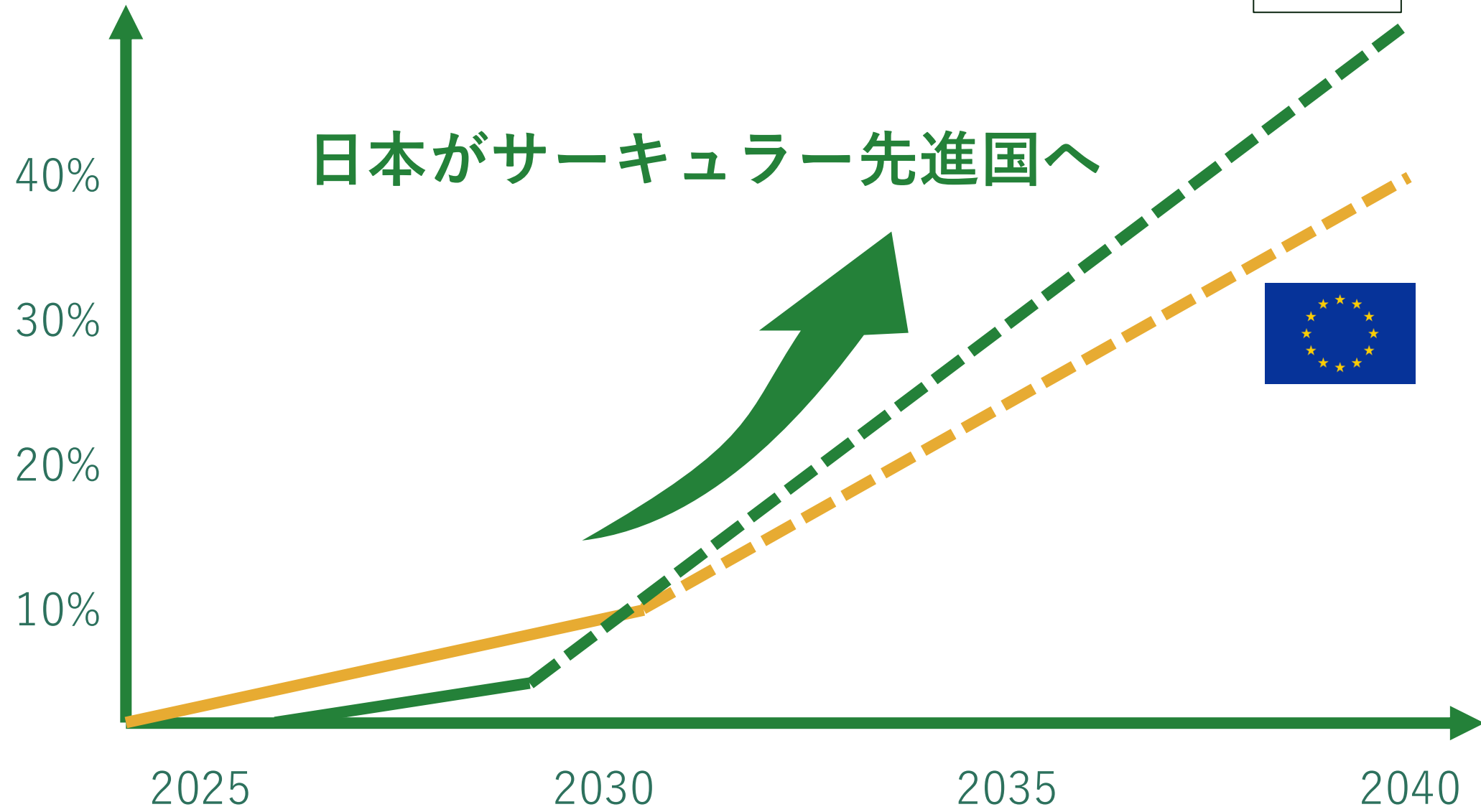


丁寧に使い、
決められた場所に返す。
これを当たり前にする国はほとんどない。

日本のモラルは世界一

※個人的主観

食品包装のリユース化率



リユースを起点にサーキュラーエコノミーを加速

イベントから日常へ



EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN



2027

イベント/フェス



2030

オフィス/学校



2033

コンビニ/スーパー

「使い捨て」から「循環型」へ、日本を持続可能な社会へアップデート

「捨てる」から 「めぐる」へ

次世代に、美しい循環を残そう

資料DL



WANTED

導入先

- ・ スポーツチーム
- ・ イベント主催者
- ・ 飲食チェーン店
- ・ 商業施設
- ・ 洗淨パートナー

事業拡大

- ・ チームメンバー
(BizDev, 開発)
- ・ 資金調達